

「お客さま本位の基本方針」に基づく取組状況

福井銀行は2017年6月に「お客さま本位の基本方針」を策定・公表し、その取組みを確実に実践するため、定期的に取組状況を検証し、取組方針の見直しや商品・サービスの向上につなげております。今般、2023年度の取組状況ならびに成果指標について取りまとめましたので、ご報告いたします。

※本資料で公表する数値は過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

お客さま本位の基本方針

Fプロジェクトは、福井銀行・福邦銀行が、それぞれの理念のもと、お客さまの安定的な資産形成のお役に立つため、資産運用関連の金融商品を取り扱う分野において、『Fプロジェクト「お客さま本位の基本方針」』（以下、基本方針）を定め、私たちはこれを遵守することにより、お客さま本位の業務運営を実践してまいります。

1. お客さま本位の業務運営の堅持

基本方針およびその取組状況を公表するとともに、基本方針の遵守状況や見直しの要否について定期的に検証してまいります。

2. お客さまの最善の利益の追求

金融商品を取り扱う者として高い専門性と倫理観を持つとともに、お客さまに対して誠実・公正に行動することにより、常にお客さまの最善の利益を追求することに努めてまいります。

3. お客さまの最善の利益の優先の確保

お客さまの最善の利益を優先することに努め、私たちの利益を不当に優先することや、それによりお客さまの利益を不当に害するといった、利益相反の発生が無いように、お客さま本位の業務運営のための態勢管理に努めてまいります。

4. お客さまからいただく手数料等の明確化

金融商品やサービスのご提供にあたり、お客さまからいただく手数料やその他の費用について、名目を問わず、その詳細と根拠についての透明性を高め、お客さまが誤解無くご理解いただけるように分かりやすく丁寧にご説明することに努めてまいります。

5. お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供

金融商品やサービスにおける基本的な利益・損失その他のリスク、ご負担いただく手数料等の取引条件や、ご提案する金融商品やサービスの販売対象となるお客さまの特徴、選定理由、経済環境・市場動向等、お客さまの様々な判断・比較・検討・気付き等に資する重要な情報を、各種資料を活用してお客さまが誤解無くご理解いただけるように、分かりやすく丁寧にご説明しご提供することに努めてまいります。

6. お客さまにふさわしいサービスのご提供

お客さまに寄り添った対話を通じて、金融商品に関するお客さまの知識や経験、お客さまの財産の状況や投資目的、ライフステージなどを十分に把握したうえで、私たちが本当にお客さまにふさわしいと考えるご提案やお取引、お客さま意向に基づくアフターフォローなどのサービス活動のご提供に努めてまいります。また、それらのサービス活動の実践にかなうための、適切な商品ラインアップの整備に努めてまいります。

7. お客さま本位の業務運営のための行内態勢づくり

私たちが実践するお客さま本位の業務運営が、お客さまからのご理解やご評価をいただけるものとなるように、役職員に対し基本方針の周知徹底を図るとともに、お客さまの安定的な資産形成に寄与することができる人材の育成や役職員の評価制度の整備に、継続的に取り組んでまいります。

お客さまの最善の利益の追求

対応原則：2. お客さまの最善の利益の追求

1. 「お客さまの最善の利益」に対する考え方

- 福井銀行では、10年の長期ビジョン「Fプロジェクト Vision 2032」において『私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し「地域価値循環モデル」を実現します』と掲げており、このビジョンに基づく長期的な取組みが「お客さまの最善の利益の追求」に繋がると考えております。



2. 福井銀行の企業文化としての定着 および

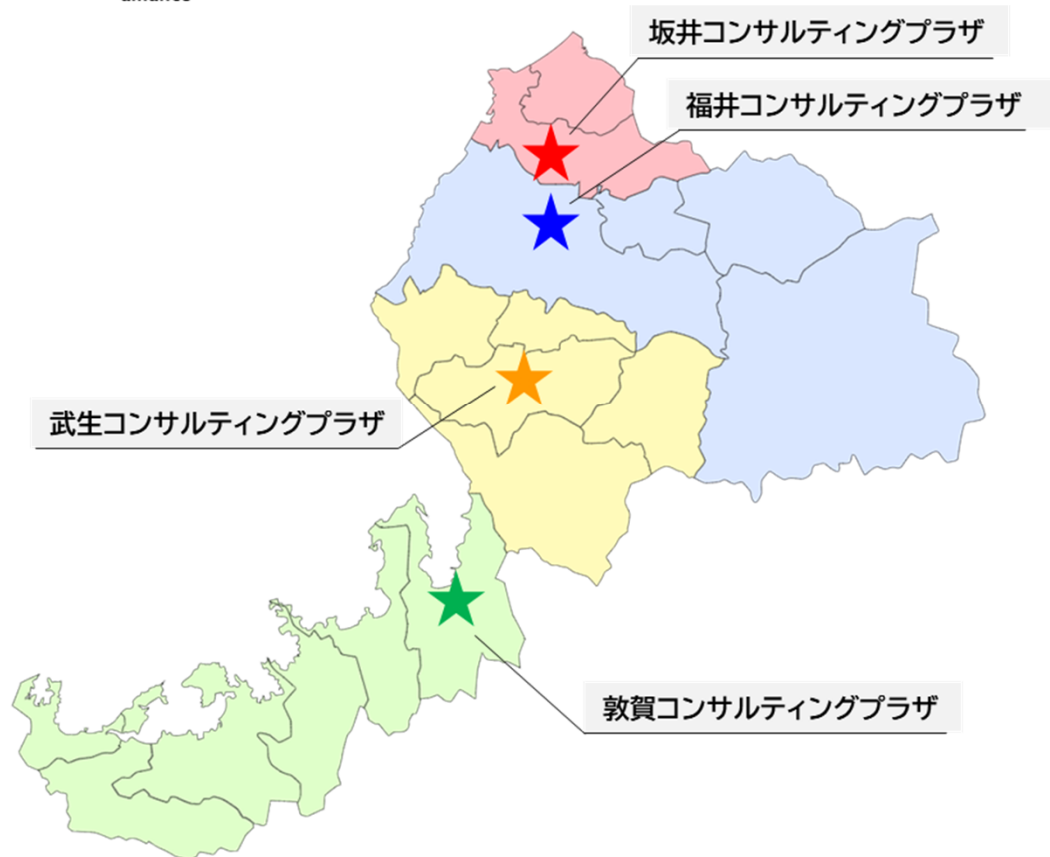
3. 「お客さまの最善の利益」を追求する行動

- 長期にわたる取組みの第一歩として、次世代を担う子どもたちが、将来、責任ある社会の構成員となるために、金融や経済の仕組みを学ぶことが重要であると考え、幅広い年代に対して金融経済教育に関する支援を行っております。
- 日頃、資産形成について考える時間を取ることができない方向けに、お取引いただいている企業の従業員さまを対象として、本部講師による資産形成セミナーを開催した他、営業店講師による小規模セミナーも各地域で開催いたしました。
- 今後も、様々なライフステージに沿ったお客さま向けのセミナーを企画・開催してまいります。

実施内容	対象	実施回数 (2023年度)
金融リテラシーを身につける授業 (生活設計・家計管理・資産運用について学ぶ)他	小学校～大学 ・社会福祉法人	31回
資産形成セミナー (つみたて投資のポイント・NISA・iDeCoについて)他	法人のお客さま の従業員さま	50回

<野村證券との業務提携>

- 2023年5月、野村證券株式会社との金融商品仲介業務に関する包括的業務提携を締結し、野村證券の商品やサービスのご提供を開始しております。
- 本提携の目的は、福井県内に強固な顧客基盤を有する福井銀行と、金融商品取引業務に関する豊富なノウハウや商品ラインナップを有する野村證券が、双方の強みを最大限に活かして発揮することで、人生100年時代への備えや次世代への資産承継等のアドバイスを通じて、地域のお客さまの豊かな生活や資産形成を持続的に支援していくことです。
- 本提携に合わせ、野村證券からの出向者と福井銀行職員が協働でコンサルティングのご提供を行う、資産運用相談専門拠点「コンサルティングプラザ」の営業を開始いたしました。(県内4か所)



4. お客さまからの声の収集・活用

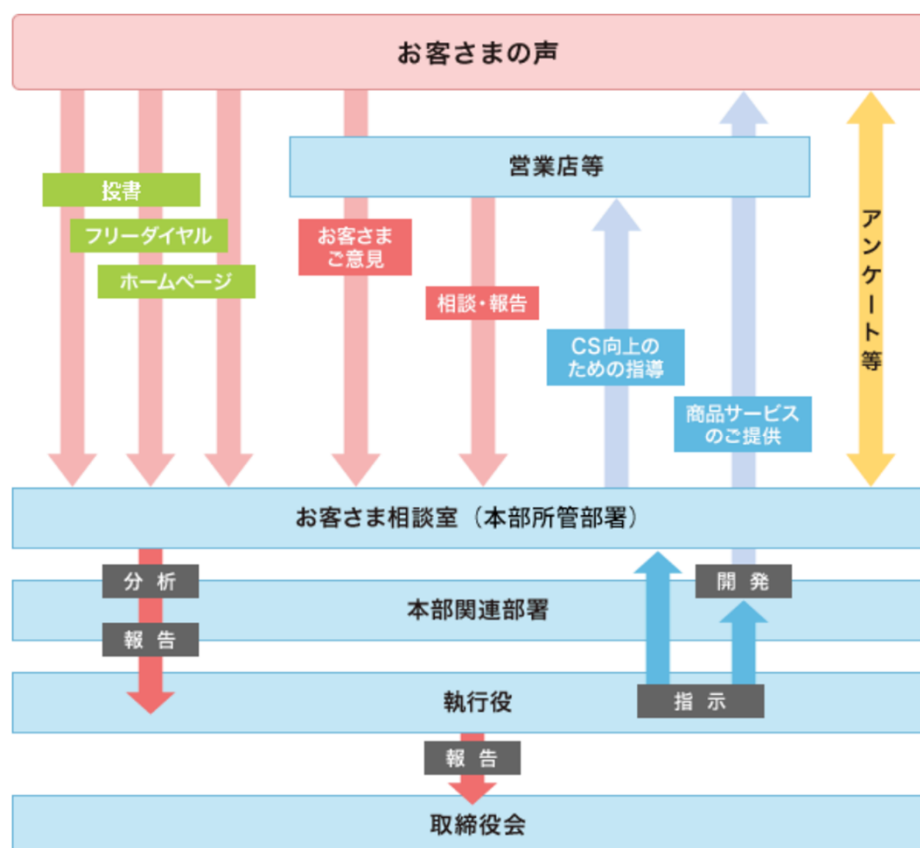
- 福井銀行では、営業店・お客さま相談室フリーダイヤル・ホームページ等に寄せられた、苦情・ご意見・ご要望を行内にて共有しております。そのうえで適切かつ迅速に改善に取り組む体制を整備しており、本部では、お客さま本位の業務運営の実践状況を定期計測し、取組みに対する課題の把握と改善に向けた施策を立案・実行しております。
- 上記の具体的な活動としては、毎月、アセットコンサルティンググループ(※1)とコンプライアンス統括チーム(※2)にて、お客さまから寄せられる声の共有を図りながら対話を実施しております。また、アセットコンサルティンググループが主催する「顧客管理委員会(※3)」などに本部関係部署が参加することで、販売態勢の検証を多面的な目線で行っております。

(※1)資産形成・資産運用のご相談窓口を有するコンサルティングプラザおよびお客さまの取引の管理やモニタリング等を行っている本部が所属するグループ

(※2)当行グループの顧客保護等管理体制の統括的かつ横断的な管理を行う本部部署

(※3)お客さまに対し適切なご提案が行われているか、勧誘・販売状況を検証・議論し、事例の共有とともにリスク管理の重要性を浸透することを目的として毎月開催しております。

【お客さまの声を活かす体制】



- お客さま本位の業務運営の実践とモニタリング・改善を通して、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するように引続き努めてまいります。

お客さまにふさわしいサービスの提供

対応原則：6. お客さまにふさわしいサービスのご提供

1-(1).「そだてる」ニーズ および

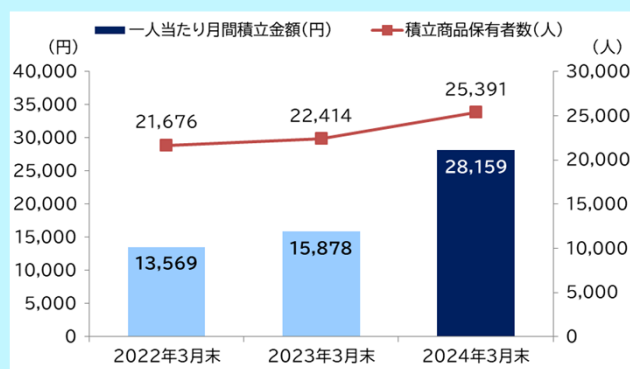
1-(2).「ふやす」ニーズをもつお客さまへのサービス

- お客さまからお聴きした情報やお考えをもとに各種シミュレーションを行い、お客さまにとって最適な資産運用方法のご提示をしております。

成果指標

一人当たり月間積立金額および 積立商品保有者数の推移

- ✓ お客さまの幅広い資産形成ニーズにお応えべく、各種積立商品のご提案に努めた結果、積立商品を保有されているお客さまおよび将来に向けての積立金額は増加しております。

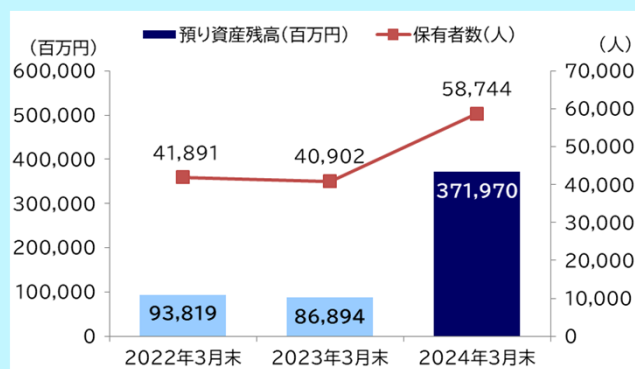


※積立商品…定期購入する投資信託・外貨預金(法人除く)

成果指標

預り資産残高および 保有者数の推移

- ✓ 野村證券株式会社との業務提携後、資産運用商品を保有されているお客さまおよび預り資産残高は増加しております。

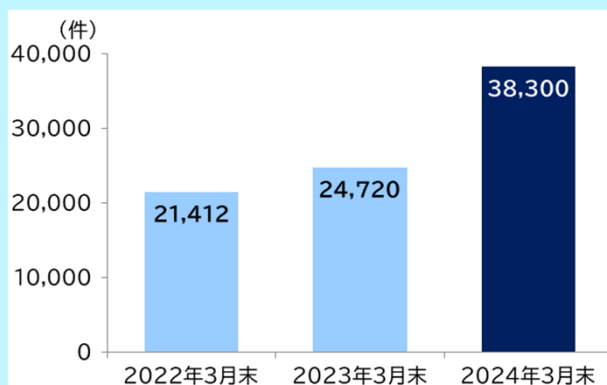


※預り資産…金融商品仲介取引、外貨預金(法人除く)

成果指標

NISA口座数

- ✓ 資産形成のご提案を行うにあたり、投資枠から得られた利益に対して税金が非課税になる制度『NISA』をおすすめした結果、NISA口座数は年々増加しております。



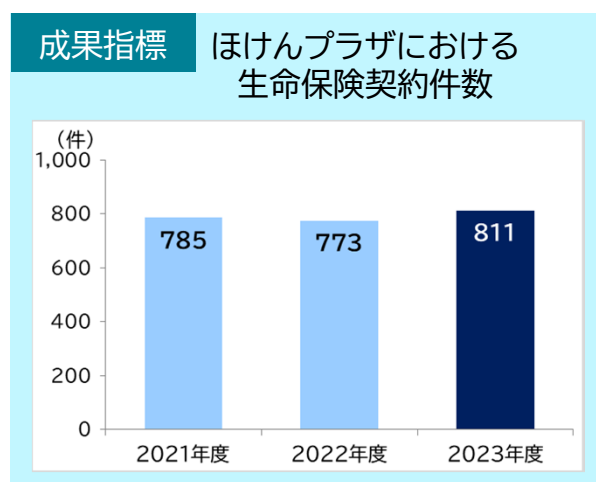
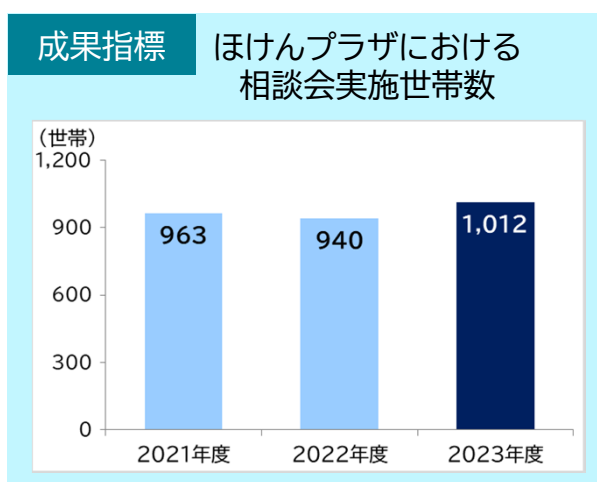
- 野村證券株式会社との業務提携に伴い、野村證券福井支店のお客さまの口座およびお預り残高がプラスされました。

- 2023年11月に福井銀行の証券顧客口座を野村證券金融商品仲介口座へ移管する直前である2023年10月末時点の福井銀行証券口座における各成果指標は以下の通りです。(法人除く)

- 一人当たり月間積立金額：16,822円
- 積立商品保有者数：22,291人
- 預り資産残高：83,299百万円
- 保有者数：49,039人
- NISA口座数：27,734件

1-(3).「そなえる」ニーズをもつお客さまへのサービス

- 土日祝日も営業している保険相談専門拠点「ほけんプラザ」にて、高度な専門知識・経験を有する職員が、複数回のご面談を通してライフステージを共有し、お客さまのライフステージに応じて起こりうる病気やケガ・不慮の事故・介護・就労不能などの様々な健康リスクに対し、保険の仕組みや必要性、シミュレーションを用いた必要保障金額をお客さまと確認し、ご意向に沿ったオーダーメイドでの保険商品のご提案を行いました。
- 相談会の実施世帯数および生命保険契約件数は共に増加し、多くのお客さまに「相談してよかった」「納得感のある話し合いや契約ができた」等のお声をいただきました。



1-(4).「のこす」ニーズをもつお客さまへのサービス

- 資産運用相談専門拠点「コンサルティングプラザ」の職員が、お客さまの財産・ご家族状況・のこしたい想い等をお伺いし、お客さまの想いを形にする解決策のご提案や、お客さまがお気づきでなかった潜在的な課題・お悩みの解決を行いました。
 - 不動産・自社株式等をお持ちのお客さまへは、コンサルティングプラザの職員の中でもより専門的かつ広範な知識を有する「ハートフルパートナー」がコンサルティングをさせていただき、必要に応じて税理士・専門部署と連携しながら課題解決のお手伝いをいたしました。
- ✓ 2023年度は、ご相続に関するご相談受付・ご提案を1,596先のお客さまへ行い、下記のご契約とご紹介につながりました。

商品	終身保険	贈与保険	介護保険	ラップ信託
契約件数	564件	92件	67件	14件
契約金額	2,836百万円	832百万円	431百万円	461百万円

商品	遺言信託	遺産整理	民事信託
紹介件数	9件	7件	2件

2. 商品のラインナップ整備

- お客さまのニーズやご意向に沿ったご提案を行うことを目的として、福井銀行の販売基準を設けたうえで、野村證券の豊富なラインナップを取り扱いしております。
- また、ご提案内容がお客さまの最善の利益につながる提案であったかを検証し、組織的にPDCAを回す体制としております。

【証券業務における商品ラインナップ】

- ✓ 2023年5月より、金融商品仲介業務における包括的業務提携先である野村證券株式会社の幅広い商品・サービスラインナップをご提供することにより、お客さまの多様な運用ニーズにお応えしております。

商品区分	商品カテゴリ
株式	国内上場株式、IPO(株式公開)、PO(公募・売出)、外国株式、ETFなど
債券	国債、社債、個人向け国債、外国債券など
投資信託	低コストインデックス、バランス型ファンド、アクティブファンド、ESG投資など
投資一任	野村ファンドラップ、野村SMA、ラップ信託

【生命保険業務における商品ラインナップ】

- ✓ 生命保険固有の機能である「保障」の拡充を軸に、万一の時への備え、病気やケガでの入院時の備え、介護への備え、就業不能への備え、三大疾病への備え、相続対策など、幅広い商品ラインナップを取り扱い、ライフステージに応じたお客さまの様々な保障ニーズにお応えしております。

3. お客さまへふさわしい商品・サービスを提供するためのシステム

- お客さまとの対話を通じて、ライフステージや経験・お考えをお伺いし、各種資産設計ツールも活用しながら、お客さまにふさわしいサービスのご提供に努めております。

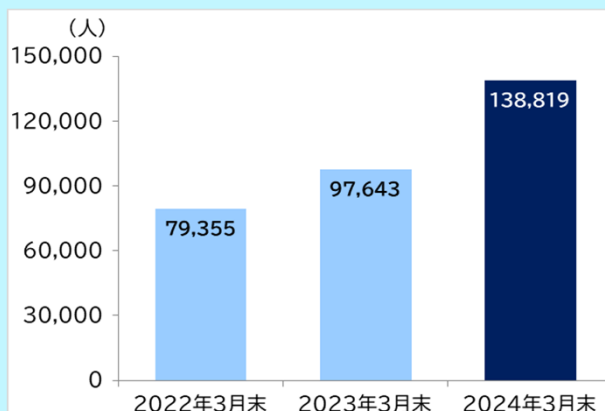
資産設計ツール	シミュレーション内容
ライフプランシミュレーション	お客さまの収入・支出・家族構成・ライフイベント・将来への準備に対するお考えをもとに、お客さまにとって最適な資産運用方法(お金の目的別に分ける)をご提示いたします。
資産配分シミュレーション	お客さまのリスク許容度・相場見通しに沿った最適な資産配分をご提示いたします。
相続シミュレーション	お客さまの財産・ご家族状況・残したい思いをもとにお客さまにとって最適な相続方法をご提示いたします。
ライフデザインシミュレーション	家族構成・資産状況・保険を必要とする背景も含めた意向の確認を行ったうえで、将来の人生設計と思いがけない事故・病気・ケガなどのリスクについて社会保障制度の仕組みを踏まえたシミュレーションを行い、オーダーメイドでのご提案を行います。

- 証券取引においては、お客さまのご希望に応じて、対面やネットでのお取引に加え、通話録音システムによりお電話でのお取引もいただけるようになりました。
- 「野村の資産運用アプリ NOMURA」では、野村証券金融商品仲介口座の保有資産状況をご確認いただける他、マーケット情報のご提供も行っております。
- 「福井銀行アプリ」から、「コンサルティングプラザ」や「ほけんプラザ」等の各種相談専門拠点の来店予約ができる他、「野村の資産運用アプリ NOMURA」へもアクセスが可能です。

チャネル	概要説明
コンサルティングプラザ	資産運用・資産形成に関するご相談窓口。福井・武生・坂井・敦賀に4拠点を設置。お電話による購入・売却などのお取引も可能です。
ほけんプラザ	保障の見直し・確認等に関するご相談窓口。福井・鯖江・敦賀に3拠点を設置し、土日祝日も営業。
各種コールセンター	野村証券の仲介口座専用のコールセンターや土日にもつながるオンラインサービス専用のコールセンター。
野村証券 オンラインサービス	野村証券の仲介口座における各種取引(売買、取引履歴照会、商品詳細確認など)をスマホやWEBでいつでも行えるサービス。
野村の資産運用アプリ NOMURA	保有資産状況の確認でき、マーケットニュースを入手できるアプリ。
福井銀行アプリ	野村証券アプリにアクセスできるほか、コンサルティングプラザやほけんプラザの来店予約も可能なアプリ。

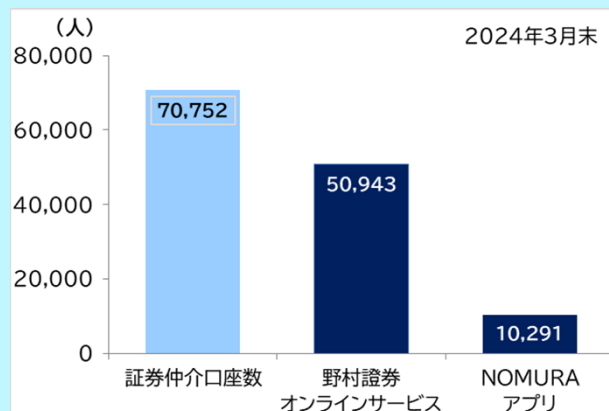
成果指標 福井銀行アプリ利用者数

- ✓ 随時利便性向上のためのリニューアルを行っており、利用者数は年々増加しております。



成果指標 野村証券オンラインサービスおよびアプリ利用者数

- ✓ 野村証券との業務提携後、オンラインでの証券取引等は「野村の資産運用アプリ NOMURA」や「野村のオンラインサービス」をご利用いただいております。



4. お客さまへのアフターフォロー活動

- タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを積極的に実施し、きめ細かな対話を通じて、お客さまの資産形成や資産運用のご意向に対する理解をより深めていくことに努めております。
- アフターフォロー活動は、投資信託や生命保険等、価格変動を伴う商品をお持ちのお客さまに対し、あらかじめ定めた基準により定期的に行っております。

【サックス(for未来)活動】

- 2022年11月より2023年11月まで、福井銀行にて証券口座をお持ちのお客さまを対象に、「サックス(for未来)活動」を行いました。
- 本活動の目的は、野村証券株式会社との業務提携を前に、お客さまの大切なご資産を提携後も継続してお預り・コンサルティングさせていただくため、業務提携に関するご説明を行い、野村証券株式会社への証券口座移管後もお取引を続けていただくことへの感謝をお伝えすることです。
- 本活動に合わせて、証券取引に限らず、生命保険等も含めたリスク性商品について、アフターフォローを行いました。
- 野村証券への証券口座移管後も、お取引方法の変更等のご案内とともに、お預りしているご資産についてのフォローを引き続き行っております。

	証券口座をお持ちのお客さまのうち 対話を行った人数
2022年度	29,039人
2023年度	38,947人

- 本活動の結果、96%のお客さまに野村証券金融商品仲介口座へ移管いただくことができました。

従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

対応原則: 7. お客様本位の業務運営のための行内態勢づくり

- 職員一人ひとりが「お客様のために一生懸命に取り組むことで、働きがい・成長を実感できる」人財となることを目指し、研修・教育・評価を充実させております。
- 2023年度においては、業務経験やスキルに応じ、マーケットや商品サービスについての知識を深めコンサルティング力を高めるためのロールプレイングを多く交えた研修を実施いたしました。
- 「お客様本位の業務運営」を実践するため、基本方針や取組方針について、各種研修にて職員へ背景も含めた考えや実践内容の共有を行ったほか、行内通達にて周知を行ってまいりました。

研修	● 新入行員研修(対象者:1年目行員) ※ :約 40名受講 ● 営業基礎研修(対象者:2年目行員) ※ :約 30名受講 ● 営業店担当者向け研修 :約140名受講 ● コンサルティングプラザ担当者向け研修 :約120名受講
自己啓発	平日勉強会、動画配信等

※新入行員研修・営業基礎研修カリキュラム一例

- ✓ お客様本位の業務運営とは
- ✓ 資産形成・資産運用はなぜ必要なのか
- ✓ 運用のポイントを知ろう
- ✓ 運用商品の違いを知ろう
- ✓ 資産運用・資産形成の必要性を分かりやすく伝えよう

- 福井銀行では、お客様への最適な金融サービスの提供を目指し、専門知識の水準を向上させ、お客様の資産形成に寄与することができる人財を育成しており、2018年4月より、お客様への営業力強化に繋げていくためのサポート体制のひとつとして、資格試験の「合格祝金支給制度」を設けております。

重要な情報の分かりやすい提供、手数料等の明確化

対応原則:5. お客さまにとって重要な情報の分かりやすいご提供

対応原則:4. お客さまからいただく手数料等の明確化

1. 重要な情報の分かりやすい提供

- お客さまへのご提案にあたっては、お客さまが様々な金融商品・サービスを比較検討できるよう丁寧な情報のご提供に努めております。

【重要情報シートの活用】

- ✓ お客さまへの簡潔な情報提供と、商品の比較を容易にいただけるツールとして、商品のリスクや手数料等の重要な情報を簡潔に記載した、重要情報シートを活用しております。
- ✓ 現在、金融事業者編・生命保険の個別商品編・外貨定期預金(為替特約付)の個別商品編・一部金融商品仲介の個別商品編の使用を行っております。

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
「重要情報シート」(金融事業者編)

福井銀行

1. 当行の基本情報 (当行はお客さまに金融商品の販売または販売仲介をするものです)

社名	株式会社 福井銀行
登録番号	北陸財務局長(登金)第2号
加入協会	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
当社の概要を記したウェブサイト	https://www.fukuibank.co.jp

2. 取扱商品 (当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

預金 (投資性なし)	○	預金 (投資性あり)	○
国内株式	○(+)	外国株式	○(+)
円建債券	○(+)	外貨建債券	○(+)
特殊な債券 (仕組債等)	○(+)	投資信託	○(+)
ラップ口座	○(+)	ETF・ETN	○(+)
REIT・インフラファンド	○(+)	その他の上場商品	○(+)
保険 (投資リスクなし)	○	保険 (投資リスクあり)	○

上記以外の商品 遺言信託、iDeCo等もご案内しております。

(*) 野村證券(野村證券)でのご案内となります。お取引いただく商品によっては商品説明書が異なる場合があります。
※上記の他、SBI証券、三菱UFJモロガンズ証券へのご紹介も承っております。

3. 商品ラインナップの考え方 (商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです)

- 福井銀行では、お客さまの中長期的な資産形成・資産運用を実現する商品・サービスをご用意し、お客さまにとって最善の利益となり、多様なニーズにお応えできるよう努めてまいります。
- 証券業務においては、金融商品仲介業務における包括的業務提供先である野村證券の豊富なラインアップを取り扱うことにより、お客さまの様々な運用ニーズにもお応えしてまいります。
- 「お客様カード」の活用やお客さまとの会話の中で、お客さまのご投資知識、ご投資経験、ご投資意向、お持ちの金融資産状況、ご収入状況等を丁寧にお聞きし、お客さまにふさわしい商品をご提案してまいります。

4. 苦情・相談窓口

当行のお客さま相談窓口 (お客さま相談室) (*)	0120-291-011
加入協会共通の相談窓口	全国銀行協会相談室 0570-017109 または 03-5252-3772
証券・金融あつせん相談センター	0120-64-5005
生命保険協会・生命保険相談所	03-3286-2648
金融庁金融サービス利用者相談室 (**)	0570-016811 または 03-5251-6811

(*) 受付時間: 平日 9:00~17:00 (祝日および銀行休業日を除く) (**) 受付時間: 平日 10:00~17:00
2023年11月13日現在

(P-0001) 2023.11(版)

福井銀行

重要情報シート (個別商品編) 使用開始日: 2024年01月12日

外貨定期預金 (為替特約付) 愛称: ふくぎんセレクト

1. 商品等の内容

金融商品の名称・種類	外貨定期預金 (為替特約付) 愛称: ふくぎんセレクト
株式会社 (運用会社)	株式会社 福井銀行
販売開始日	—

● 外貨定期預金に為替特約 (受取通貨決定に関する特約) を結ぶことで、一定範囲内の円高リスクを軽減しつつ、円ベースでの高利回りを狙える商品です。
● 為替相場変動により、高利回りの受取り通貨が円高となる場合、円高となる場合があります。
● 円高での受取となった場合、円安メリット (為替差益) を受けられません。
● 円高での受取となった場合、円ベースでは元金割れとなる可能性があります。
● リスクの軽減は、他商品 (リスクと運用利回り) に比べて低くなります。

● 短期間の取引で通貨の円高円安リスクよりも高い利回りを狙える商品です。
● 外貨定期預金の運用に特約があるが、一定の為替変動リスクを軽減した商品をお考えの方。
● 一定範囲を超えた為替変動による元金割れリスクを許容する条件付きの商品です。
● 円高での受取となった場合でも引き続き円高で運用できる商品です。
● 運用まで本商品を保有いただける方 (長期として運用目的に保有することができません)。
● 本商品は一定の為替変動リスク (円高リスク) を軽減することができ、通常の外貨預金と異なり為替差益 (円安メリット) を得ることはできません。為替差益を享受したいお客さまには不向きな商品です。

パッケージ化の有無 外貨定期預金と為替特約を結ばれた商品です。為替特約を個別の金融商品として購入することはできません。

クーリング・オフの有無 クーリング・オフ (契約日から一定期間、無条件で解約できる仕組み) の適用はありません。

2. リスクと運用実績 (本商品は、元金が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

● 為替相場の変動による影響を受けます。損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面「商品説明書」P4「為替変動リスク」に記載しています。
● 円高での円安となった場合、購入相場での円安となり、円安による為替差益を得ることができません。
● 円高での円安となった場合、円安メリット (為替差益) を受けられません。
● 円高での円安となった場合、円ベースでは元金割れとなる可能性があります。
● 本商品は原則中途解約ができません。
● 本商品は預金保険の対象ではありません。

2013年1月~2022年12月の購入期間毎の最大相場変動率から算定される損失額は以下の通りとなります。
※損失額は100万円相当の外貨をお入れいただいた場合で記載しております。
※為替手数料等の諸費用は別途としておりません。

購入期間: 3か月	最大相場変動率: 11.08%の円高	想定損失額: 120千円
購入期間: 6か月	最大相場変動率: 15.07%の円高	想定損失額: 157千円

【参考】外貨払戻率

第1期 (2016年6月) から第66期 (2023年9月) 営業時までにおいて、
外貨で払戻となった総戻付額 (約) : 32 億円 (14.54%) (繰越損益: 220 万円)
外貨払戻率は、あくまで参考情報であり厳密な数値にはなりません。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
● 上記の損失リスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

2. 手数料についての分かりやすい説明

- 手数料に関しましては、契約締結前交付書面や目論見書等でご確認いただけるように努めております。金融商品のご提供に際し、購入時手数料や信託報酬等の計算式や概算金額をお示しするなど、分かりやすい説明を行うよう努めております。

利益相反の適切な管理

対応原則：3. お客様の最善の利益の優先の確保

- お客様へ金融商品・サービスをご提供するにあたっては、お客様の利益を不当に害することのないよう、利益相反状況を「利益相反管理規程」に基づき適切に管理しております。
- 様々な投資運用会社や保険会社等からご提案商品を採用し、特定の会社や商品に偏ることのないよう努めております。
- なお、当行ではお客様への販売商品を組成・供給する部門やグループ会社等を有していないため、当行グループのために特定の商品販売することはありません。

※投資信託および生命保険（一時払商品・平準払商品）における、商品種類ごとの販売額上位10商品とその販売シェアは次の通りです。

2023年度（投資信託販売状況）

	ファンド名称	委託会社	販売シェア
1	野村インド株投資	野村アセットマネジメント	6.5%
2	【ネット専用】ニッセイ日経225インデックスファンド	ニッセイアセットマネジメント	6.0%
3	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	アライアンス・バーンスタイン	5.3%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	アライアンス・バーンスタイン	5.2%
5	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	5.0%
6	野村HD社債／システムティック・G・マクロ戦略F2401	T&Dアセットマネジメント	3.0%
7	キャピタル世界株式ファンド	キャピタル・インターナショナル	2.8%
8	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	野村アセットマネジメント	2.6%
9	ティー・ロウ・プライス ニュー・ホライズンB 為替ヘッジなし	ティー・ロウ・プライス・ジャパン	2.4%
10	GSワールド・シフト株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	2.4%

2023年度（生命保険販売状況：一時払）

	保険商品名称	保険会社	販売シェア
1	プレミアプレゼント3(外貨建)	第一フロンティア生命	23.3%
2	たのしみグローバルⅢ(円建)	住友生命	18.4%
3	プレミアカレンシー3(外貨建)	第一フロンティア生命	10.9%
4	やさしさ、つながり2(外貨建)	三井住友海上プライマリー生命	6.3%
5	やさしさ、つながり2(円建)	三井住友海上プライマリー生命	5.9%
6	はじめての介護(外貨建)	ニッセイ・ウェルス生命	5.3%
7	ロングドリームGOLD3(外貨建)	日本生命	5.1%
8	プレミアプレゼント3(円建)	第一フロンティア生命	4.7%
9	しあわせ、ずっと3(外貨建)	三井住友海上プライマリー生命	4.2%
10	プレミアカレンシー3(円建)	第一フロンティア生命	3.7%

2023年度（生命保険販売状況：平準払）

	保険商品名称	保険会社	販売シェア
1	新メディフィットA	メディケア生命	27.0%
2	健康をサポートするがん保険 勇気のお守り	SOMPOひまわり生命	11.2%
3	新メディフィットPlus	メディケア生命	7.1%
4	ネオdeいりよう	ネオファースト生命	5.9%
5	ネオdeしゅうほ	ネオファースト生命	5.9%
6	ニッセイみらいのカタチ養老保険	日本生命	5.0%
7	じぶんと家族のお守り	SOMPOひまわり生命	3.7%
8	終身保険RISE	オリックス生命	3.5%
9	こだわり個人年金(外貨建)	マニユライフ生命	3.4%
10	健康をサポートする医療保険 健康のお守り	SOMPOひまわり生命	2.6%

投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

お客さまが投資信託およびファンドラップを提供する金融事業者を選ぶにあたり、比較することのできる3つの指標(共通KPI※)を公表いたします。

※KPI:Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標のことで、目標の達成に向けた行動や成果を評価するための指標。

1. 運用損益別お客さま比率

基準日時点において投資信託またはファンドラップを保有しているお客さまについて、保有投資信託またはファンドラップにかかる購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示したものです。

2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

3. 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、基準日時点の銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

● 共通KPIの算出方法

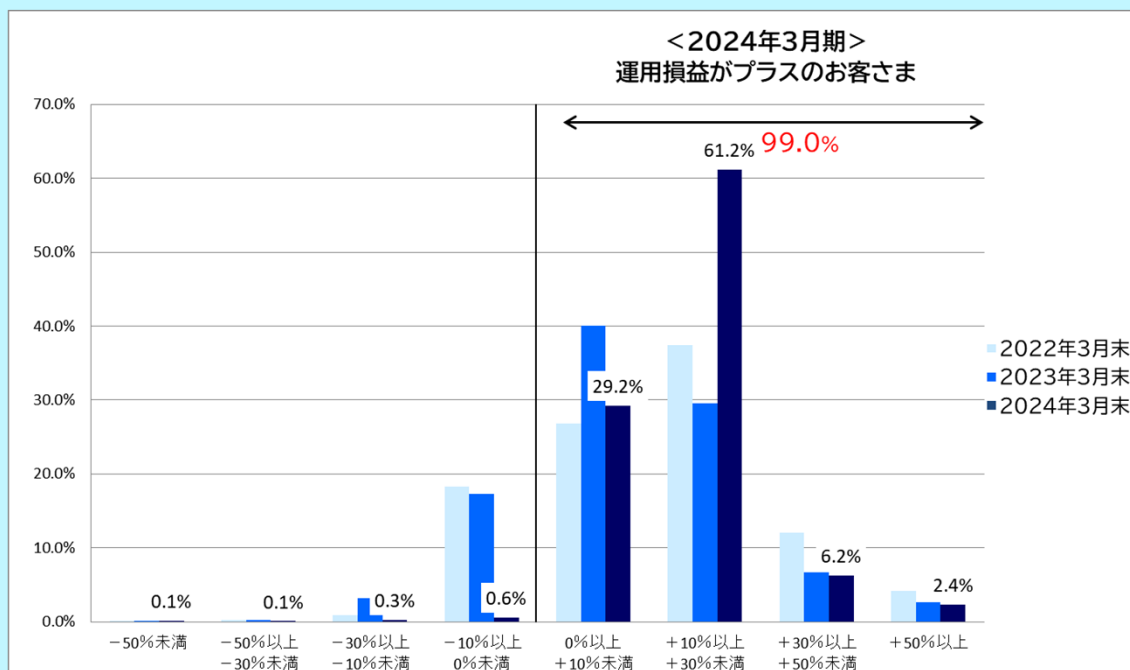
コスト	販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値
リターン	過去5年間のトータルリターン(年率換算)
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

1. 運用損益別お客さま比率

- ✓ 2024年3月末時点における投資信託の運用損益がプラスのお客さまの比率は99.0%、ファンドラップの運用損益がプラスのお客さまの比率は91.4%です。

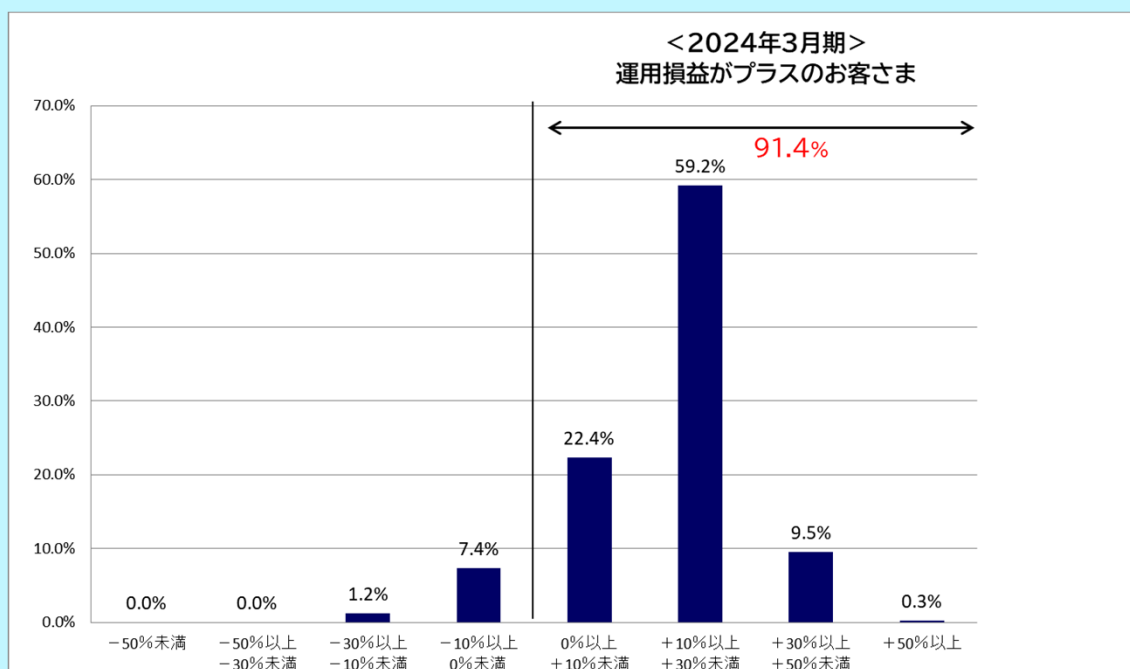
◆ 投資信託の運用損益別お客さま比率

<2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準>



◆ ファンドラップの運用損益別お客さま比率

<2024年3月末基準>



2. 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

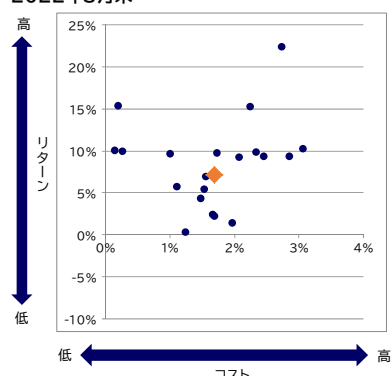
3. 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- ✓ 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コストは2.04%(前期比+0.33%)、平均リスクは16.99%(前期比+2.84%)、平均リターンは14.36%(前期比+8.07%)です。

◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

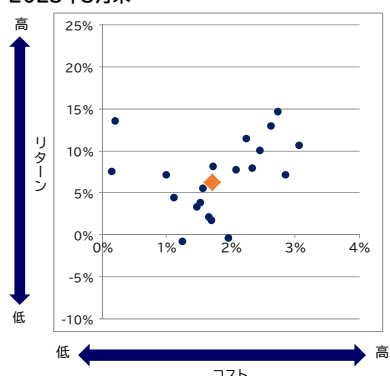
<2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準>

2022年3月末



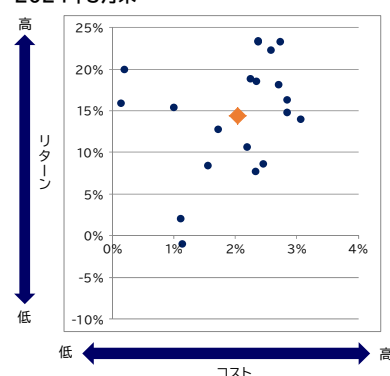
残高加重平均値	コスト	リターン
◆	1.69%	7.17%

2023年3月末



残高加重平均値	コスト	リターン
◆	1.71%	6.29%

2024年3月末

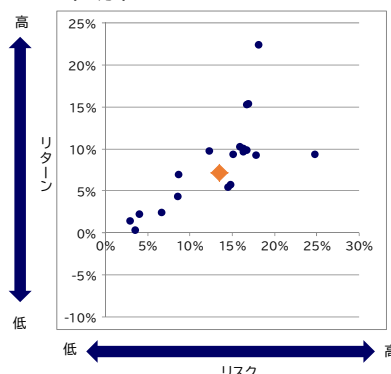


残高加重平均値	コスト	リターン
◆	2.04%	14.36%

◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

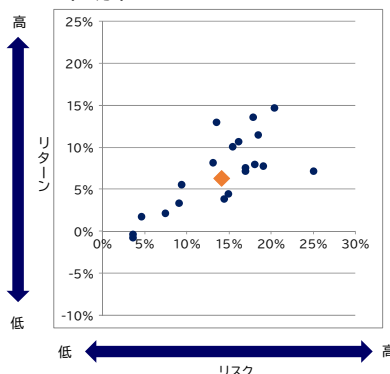
<2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準>

2022年3月末



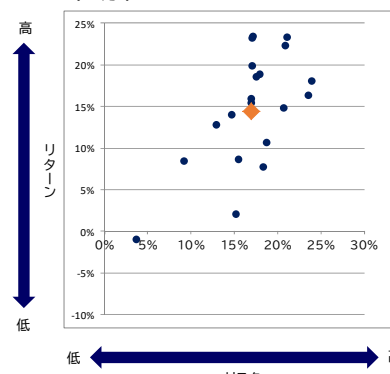
残高加重平均値	リスク	リターン
◆	13.45%	7.17%

2023年3月末



残高加重平均値	リスク	リターン
◆	14.15%	6.29%

2024年3月末



残高加重平均値	リスク	リターン
◆	16.99%	14.36%

◆預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

<2024年3月末基準>

No.	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)予想分配金提示型	2.39%	17.18%	23.15%
2	野村インド株投資	2.86%	20.75%	14.72%
3	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	1.12%	15.30%	1.96%
4	新光US-REITオープン	2.34%	18.42%	7.66%
5	のむラップ・ファンド(普通型)	1.57%	9.29%	8.36%
6	インデックスファンド225	1.01%	17.02%	15.33%
7	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)	2.39%	17.29%	23.28%
8	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
9	キャピタル世界株式ファンド	2.36%	17.61%	18.46%
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース(為替ヘッジなし)	2.75%	21.15%	23.19%
11	iFree日経225インデックス	0.15%	17.03%	15.84%
12	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.20%	18.82%	10.56%
13	高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	2.71%	24.04%	17.98%
14	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	2.47%	15.57%	8.52%
15	のむラップ・ファンド(積極型)	1.74%	12.98%	12.68%
16	次世代米国代表株ファンド	2.26%	18.07%	18.78%
17	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	21.01%	22.19%
18	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.14%	3.81%	-1.10%
19	iFree外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	0.21%	17.19%	19.81%
20	HSBCインドオープン	2.86%	23.67%	16.23%

外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

お客さまが外貨建一時払保険を提供する金融事業者を選ぶにあたり、比較することのできる2つの指標を公表いたします。

1. 運用評価別お客さま比率

基準日時点において外貨建一時払保険を保有しているお客さまについて、契約毎の運用評価を算出し、運用評価別にお客さまの比率を示した指標です。

2. 銘柄別コスト・リターン

保険契約開始から60か月以上経過した契約(基準日時点で有効であるもの)のうち、残高(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額の合計額)上位20銘柄について、基準日時点の銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

● 共通KPIの算出方法

コスト	① 各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出 ただし、個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な契約の手数料率は、保険会社における当該銘柄の保有全契約のうち、保険契約開始から60か月以上経過した契約(基準日時点で有効であるもの)を対象に、当該銘柄を組成する保険会社にて算出される、各契約に適用されている新契約手数料率及び継続手数料率を各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均した値を使用 ② 各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均
リターン	① 各契約のリターン率について、(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率に換算 ② 各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均

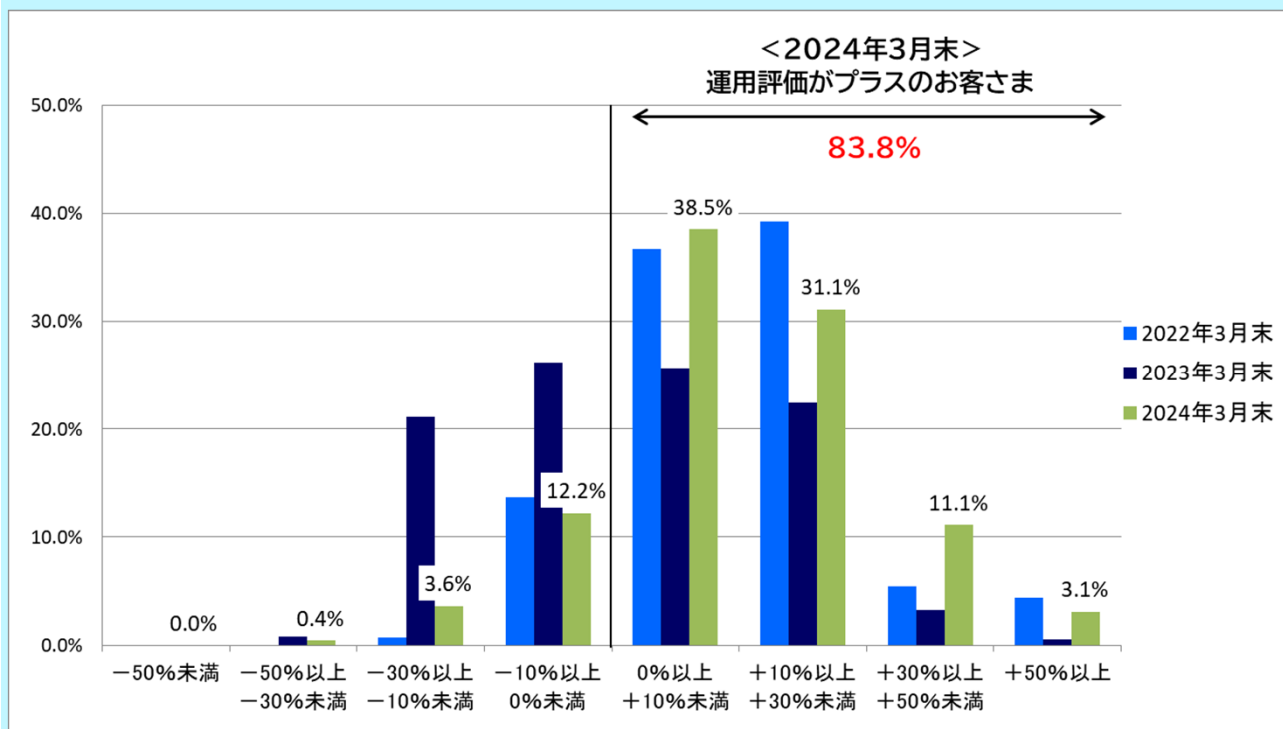
- ✓ 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ✓ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

1. 運用評価別お客さま比率

✓ 2024年3月末時点における運用評価がプラスのお客さまの比率は83.8%です。

◆ 外貨建一時払保険の運用評価別お客さま比率

<2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準>

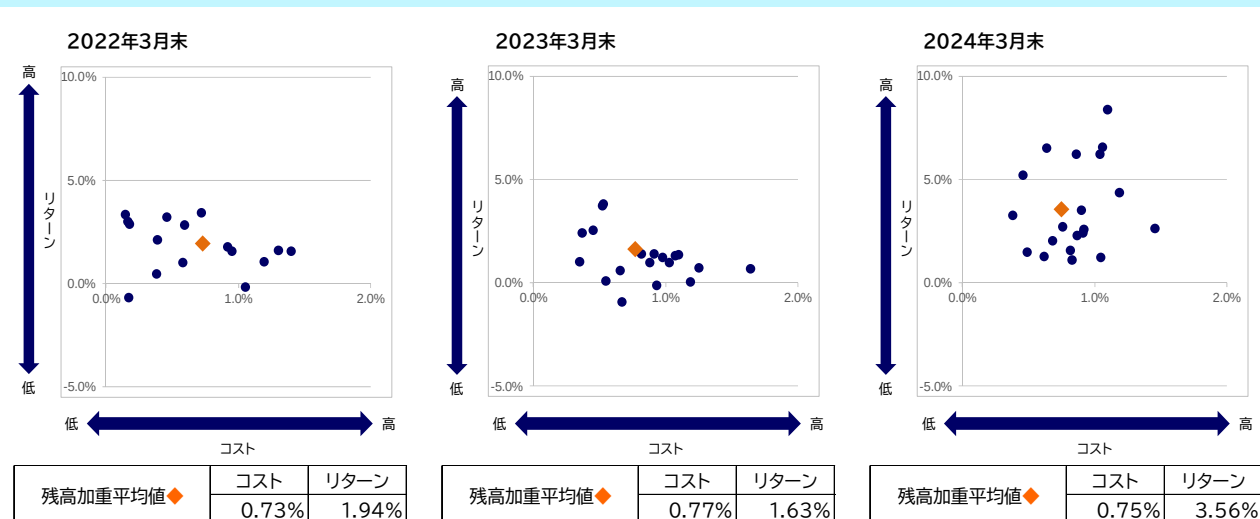


2. 銘柄別コスト・リターン

✓ 2024年3月末時点における残高加重平均コストは0.75%、残高加重平均リターンは3.56%です。

◆ 外貨建保険の残高上位20銘柄

< 2022年3月末、2023年3月末、2024年3月末基準 >



◆ 預り残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

< 2024年3月末基準 >

No.	銘柄名	コスト	リターン
1	やさしさ、つなぐ	0.62%	1.27%
2	プレミアプレゼント	0.90%	3.51%
3	ファイブ・ステップUS	0.46%	5.21%
4	夢のプレゼント	0.64%	6.51%
5	プレミアカレンシー・プラス2	0.68%	2.03%
6	ロングドリームGOLD2	1.04%	6.21%
7	しあわせ、ずっと	1.19%	4.36%
8	ライフロング・セレクトPG3	0.76%	2.73%
9	ロングドリームGOLD	0.82%	1.56%
10	アドバンテージ・セレクトPG	0.49%	1.49%
11	生涯プレミアムワールド4	0.87%	2.29%
12	デュアルドリーム	1.46%	2.64%
13	プレミアジャンプ・年金(外貨建)	0.91%	2.40%
14	プレミアジャンプ3・年金(外貨建)	1.05%	1.22%
15	外貨建エブリバディプラス	0.86%	6.23%
16	たのしみグローバル(定率)	1.06%	6.54%
17	プレミアジャンプ	0.83%	1.12%
18	アドバンテージ2	0.38%	3.26%
19	プレミアジャンプ2・年金(外貨建)	0.92%	2.57%
20	たのしみグローバル(指数)	1.10%	8.37%